

会社概要

商 号	株式会社日本アクア
英 文 社 名	Nippon Aqua Co.,Ltd
代表取締役	中村 文隆
本 社	〒108-0075 東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル20F TEL: 03-5463-1117 FAX: 03-5463-1118
設立年月日	2004年11月29日
資 本 金	19億3百万円
事 業 内 容	建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工 住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
従 業 員 数	765人(単体) ※2026年6月末現在



コーポレートサイト

役員 (2026年3月30日)

代表取締役	中村 文隆
専務取締役	村上 友香
常務取締役	永田 和久
取 締 役	藤井 豪二
取 締 役	宇佐美 計史
社外取締役	剣持 健
社外取締役	小松 健次
社外取締役	下村 昌作(監査等委員)
社外取締役	柏田 由貴(監査等委員)
社外取締役	樋口 尚文(監査等委員)
社外取締役	仁科 秀隆(監査等委員)

株主メモ

事業年度
毎年1月1日から12月31日まで

基準日
毎年12月31日

定時株主総会
毎事業年度終了3カ月以内

単元株式数
100株

株主名簿管理人及び特別講座の講座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL: 0120-232-711(通話料無料)

郵送先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法
当会社の公告は、電子公告により行います。
<https://www.n-aqua.jp>
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。



第23期中間 株主通信

2026年12月期[証券コード:1429]

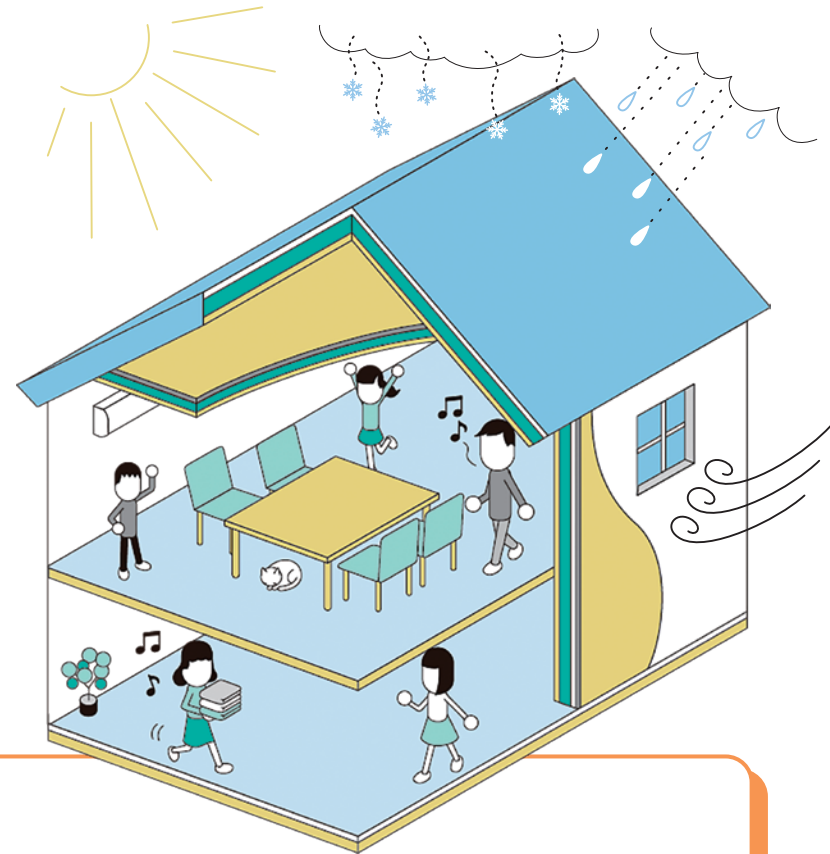
AQUA REPORT

人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献

ABOUT OUR BUSINESS

みえないトコロに 新しい価値を

たとえ、お洒落なデザインの家だとしても、
たとえ、最新設備のビルや施設だとしても、
室内が快適だとは限りません。
なぜなら、外からはみえない内側の施工品質が重要だからです。
高断熱・高機密な断熱材と防水材のサービスをトータルで展開し、
人々の暮らしを豊かにしていきます。



断熱材や防水材の分野において、トータルに提供

戸建住宅や建築物、工場などで使用される断熱材。温室効果の大きいフロンガスを使わず、水を使って現場で発泡させる断熱材「アクアフォーム」など、人と地球に優しい硬質ウレタンフォーム素材を使用しています。また、異常気象や大雨の増加、高度経済成長期の建築物の老朽化に対処するため、防水施工のニーズが拡大中。当社が開発した吹付けタイプの防水材「アクアハジケン」は短時間で硬化し、高い防水性と伸張性を兼ね備えているため最適なソリューションとなっています。

原料開発から施工、リサイクルまで唯一無二のビジネスモデル

テクニカルセンターを開設し、ファブレスで原料の自社製造を実現しています。さらに北米やアジアに留まらないグローバルな調達ルートを確認していることに加え、国内各地にウレタン原料のストックポイントを設置することで機動的な原料調達を行える体制を整備。また、北海道から沖縄まで、全国に営業拠点、物流倉庫、ウレタンリサイクル工場を配置し、地域性に応じた事業活動とウレタン原料の安定供給に取り組んでいます。また、吹付け硬質ウレタンフォームの施工では、大量のウレタン端材が発生しますが、当社では、全国の施工現場からウレタン端材の回収を行い、「アクアブロー（主に天井裏に敷き詰める断熱材）」として再製品化しています。

INFORMATION

中東情勢に関する当社開示が 東京証券取引所の開示好事例として掲載

当社は、2026年5月に「現下の中東情勢が当社の事業及び業績に与える影響について」を公開しました。直接的な影響と間接的な影響に分けて説明し、調達体制や在庫ネットワークの強化といった具体策や事業機会への捉え方を詳細に開示したことが、投資家への適切な情報提供として東京証券取引所に高く評価されました。



最旬動画コンテンツの紹介

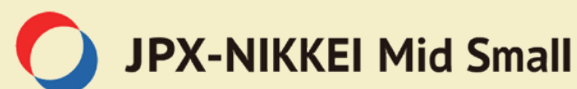
登録者数9万人以上の現役投資家2人によるYouTubeチャンネル「1UP 投資部屋」に弊社代表・中村文隆が出演しました。専門投資家であるKEN氏との対談形式で、中間期決算の概要や今後の成長戦略について一問一答でわかりやすく解説しています。ぜひご覧ください。



動画はコチラ！



日本アクア
公式YouTube



TOP MESSAGE

トップメッセージ

代表取締役社長 中村 文隆



各部門の市場概況

近年、高い断熱性・気密性が住宅の耐久性向上や長寿命化に寄与するという認識が一般消費者の間にも広がりつつあり、市場の関心は断熱等級6以上の上位等級へと急速に移行しています。こうした建物の高断熱化の波は住宅にとどまらず、非住宅分野においてもデータセンター等の情報関連分野を中心に、企業の設備投資が拡大。省力化・合理化を目的としたニーズとして顕著に現れています。さらに、当社が向き合う市場環境の変化

は断熱分野だけに留まりません。1980～1990年代に建てられた建築物の老朽化により、耐用年数を超えた防水層の劣化や雨漏りが顕在化しています。これに伴う防水改修工事の需要拡大を受け、当社の新たな成長の柱である「防水部門」が全体の成長を後押しする力強い牽引役となっています。

「GX ZEH」基準への対応

2027年から適用が開始されるGX ZEH(断熱等級6)への対応として、床か

ら壁、屋根、さらには外壁の断熱ボードにいたるまで住宅全体として最適化する、「まるっとアクアフォーム」戦略で応えます(詳細は右ページ)。断熱施工を丸ごとパッケージ化するという発想は、私たちが長年にわたり磨き続けてきたウレタン施工技術と、原料に関する知見の確かな延長線上に位置付けられるものです。「できることを、より広範に、より安く提供する」。このシンプルかつ強力な戦略を通じて、私たちは日本の断熱市場に新たな選択肢を提示していきたいと考えています。

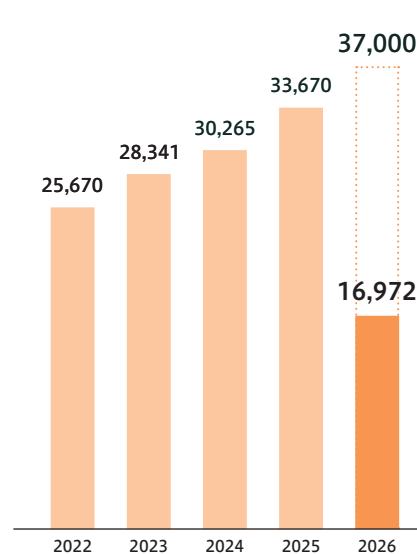
FINANCIAL HIGHLIGHTS

財務ハイライト

■ 通期実績 ■ 第2四半期実績 □ 通期予想

売上高

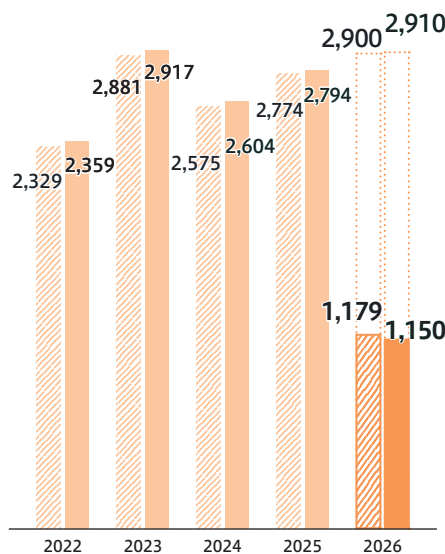
(単位：百万円)



営業利益・経常利益

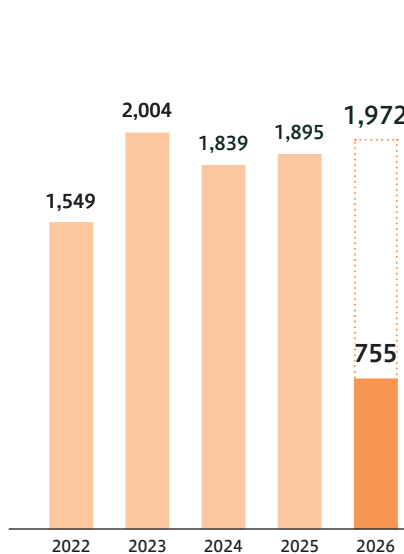
(単位：百万円)

▨ 営業利益
■ 経常利益



当期純利益

(単位：百万円)



NEWS AND TOPICS 最新ニュース

戸建部門

ウレタン断熱ボードの製造・販売を開始。 「まるっとアクアフォーム」戦略がパワーアップ！

従来の断熱施工では、壁・屋根・床ごとに工程や発注先が分かれており、品質のばらつきや現場管理、不具合発生時の責任の所在が不明確などの課題を抱えていました。そこで当社は、2025年7月から断熱ボードメーカーと提携し、断熱ボードの仕入販売を開始。これまでの屋根や壁への現場発泡ウレタン施工に加えて、外壁や床まで、住宅一棟ごとに最適な断熱仕様をワンストップで提案する「まるっとアクアフォーム」の体制を構築しました。

そしてついに今年、新製品として断熱ボード「U-MAX」の製造・販売を開始予定！ 協力会社との連携により、フルプレカット加工と現場直配の供給体制を強みとしています。高い断熱性能とコストパフォーマンスを両立できることから、かねてより東京大学大学院工学系研究科の前真之准教授と提唱してきた「ゆとりの断熱等級6」の普及を後押し。韓国工場での製造や今年度内の九州拠点の竣工を皮切りに、2028年までに第2・第3製造拠点を展開する予定です。全国規模でのマーケット拡大をめざします。

「まるっとアクアフォーム」で 実現すること

アクアフォーム

U-MAX

ゆとりの 断熱等級6

高い断熱性能と
コストパフォーマンスの
両立をめざす
住宅仕様の考え方。

ダブル断熱

従来の「アクアフォーム」と
「U-MAX」を使って
住宅の内と外
両側から断熱！

一括供給・施工

床から壁、屋根、外壁の
断熱ボードにいたるまで
安定して高い品質・性能で、
かつ安価に提供することが可能！



POINT

新商品「U-MAX」の特徴

「U-MAX」は、「アクアフォーム」などと同じウレタンの原料を用いた高性能断熱ボードのことで、主に床や外壁に使用されます。東レグループの一村産業と連携することで裁断から配送までを一体でサポート。原料調達力を活かした安定供給や価格優位性に加え、アルミ面材による遮熱効果などの付加価値を訴求し、需要獲得を図ります。

